

## 中部ESD拠点運営委員会（第17回）議事メモ

日 時 平成21年4月16日（木）18時30分～20時30分

場 所 中部大学名古屋キャンパス（8-C号室）

出席者 竹内委員長、千頭副委員長、寺井、羽後、今村、高山、黒岩の各委員、

事務局 永田、古澤、酒井、岡本

### 議 事

#### 1. 国連大学の提出書類（Annual Report）について

国連大学への提出書類であるAnnual Reportの作成について議論を行った。締め切り日が4月末となっているため、事務局の叩き台を元に種々議論を行い、補足事項に関しては、メールにて随時追加することとした。（資料1：提出済Annual Report）

#### 2. 第4回RCE世界会議（2009年5月13日～15日、カナダ・モントリオール）に向けて

第4回RCE世界会議に向けて、中部ESD拠点協議会からの参加者確認等の最終打合せを行った。世界会議のテーマ別分科会において、中部ESD拠点がファシリテーターを引き受けているため、担当者を決めるための意見交換を行った。

次いで、武者小路委員から、もし羽後委員が会議への参加の意思があるならば適任ではないかとの提案があり、羽後委員の参加意思も確認されたため、これを承認した。羽後委員の渡航費に関しては、すでに決定している2名分の渡航費に加えて、中部大学に追加依頼を行うこととした。

なお、中部ESD拠点からのモントリオールの会議への出席者は、武者小路委員、黒岩委員、羽後委員、古澤事務局員の予定。

#### 3. アクションプランについて

##### ◎伊勢・三河湾流域圏プロジェクト

羽後委員より、「伊勢・三河湾流域圏プロジェクト」の現在の進捗状況の報告があった。報告内容は、主に以下のとおりである。

- ・中部ESD拠点推進会議に関わる個人、団体の情報を収集している。加えて、第2回中部ESD拠点総会（2008年11月29日）で事務局が収集した協議会参加団体の情報や、第2回伊勢・三河湾ESDフォーラム（2009年1月25日）での発表団体等の活動情報も照らしあわせながらデータ化し、マッピングすることも検討中。
- ・どのようなデータベースとして構築するかは今後事務局と相談。

##### ◎「伊勢湾再生行動計画」のモニタリングと連携事業

高山委員より、「伊勢湾再生行動計画」のモニタリングと連携事業の現在の進捗状況の報告があった。報告内容は、主に以下のとおりである。

- ・月1回研究会をオープンで行っている。5月31日(日)には、伊勢湾と国際関係論を絡ました研究会を行う予定である。
- ・3月25日に伊勢湾再生推進会議を行った。伊勢湾再生計画は、多主体との協働と連携が必要であるので、愛知・三重・岐阜の市民団体を一団体ずつ集めて事務局を構成することを考えている。

#### ◎生物多様性COP10への貢献事業

高山委員より、生物多様性条約（CBD）市民ネットワーク（以下「CBD市民ネット」）の活動内容の現状が報告された。報告内容は、主に以下のとおりである。

- ・CBD市民ネットの全国組織では、団体会員と個人会員の枠を設けており、団体会員は国以外のあらゆる団体（市民団体、基礎自治体等）が登録することが可能。よって中部ESD拠点協議会が協議会参加団体にCBD市民ネットの活動情報を流すことで、協議会参加団体とCBD市民ネットの全国組織との連携が可能になる。
- ・CBD市民ネットでは、一連の活動に研究者がどのように関わることができるか、を模索している。アクティブに動いている流れの中で関わるのは難しいが、大きな理念的な話の中で関わるのが可能でないかと考えている。
- ・以上のCBD市民ネットの動きの中で、中部ESD拠点協議会がどう関わっていくか考えていく必要がある。
- ・中部ESD拠点推進会議より、羽後氏、村瀬氏が、CBD市民ネットの運営委員になった。

また武者小路委員より、第14回の運営委員会で提案された、武者小路委員のCOP10への貢献事業案（2010年のCOP10・国家間会議に向けた市民提案書作成のための、インターネットを用いた国内外のNPO・NGO等の団体との連絡・対話活動の立ち上げ・マネジメントに関する提案）（以下「サイバー対話事業」）の活動内容の現状が報告された。

- ・サイバー対話事業は5月中旬以降より、CBD市民ネットとも連携しながら本格的に稼働させる予定である（5月中旬までは、中部ESD拠点推進会議のメーリングリストで実験的に対話を行う）。
- ・議論内容は、ESD的に広い観点のものを想定している。
- ・ユネスコの生物多様性条約の担当者がサイバー対話事業に関心を持っており、ユネスコからの後援も可能ではないか。

#### ◎伊勢三河湾流域圏マイナス80計画

竹内委員長より、「伊勢三河湾流域圏マイナス80計画プロジェクト」を「『地球憲章』共有化プロジェクト」に変更したいとの提案がなされ、承認された。

### 3. その他

#### ◎世界平和アピール七人委員会について（第14回運営委員会議事録 4. その他 参照）

武者小路委員より、中部ESD拠点協議会が名義後援を行う「世界平和アピール七人委員会」（2009年11月開催予定）の現在の進捗状況の報告があった。報告内容は、主に以下のとおりである。

- ・会場として、中部大学名古屋キャンパスを確保している。

・中部ESD拠点関係者では、竹内委員長、高山委員に問題提起をしていただく予定、CBD市民ネット、中部ESD拠点推進会議の方々にも関わっていただくことを予定している。

◎中部ESD拠点連続講座について

各委員より、運営委員、協議会参加団体、一般市民等が一同に集まって勉強、意見交換するような場が必要との認識が提起があり、「中部ESD拠点連続講座」（主催：中部ESD拠点協議会、企画・実施：中部ESD拠点運営委員会）を開催する旨の議論があった。

主たる目的を、①中部ESD拠点の活動を協議会参加団体会員及び一般市民に広く広報することと、②中部ESD拠点のプロジェクトに協議会参加団体に積極的に関わっていただくためのきっかけづくりとすること。また、そのために、主要な4つのプロジェクトを毎回一つずつ取り上げて連続講座とすることを承認した。

その中から、第1回目の講座を6月3日（水）18:30～中部大学名古屋キャンパスにて開催する旨の提案があり、詳細をメール上で議論することとした。

◎中部ESD拠点ロゴマークの使用について

岡本事務局員より、ロゴマークの使用に関するマニュアル案の提示があり、その内容に関して種々議論が行われた。

◎次回の日程について

次回、第18回運営委員会は、6月4日（木）に中部大学名古屋キャンパスで開催することとした。

以 上